大庭小学校 第4学年学年経営案

●学年のキャッチフレーズ・合言葉・スローガン

「Colorful (カラフル)」

~一人ひとりの色とりどりのよさを大切にし、みんなで協力し合って頑張れる元気で明るい4年生~

●つけたい力の具体像と学年経営の取組

| | 自分で考え表現する力知 | 自分も人も大切にする力 | がんばりぬくカ |
|--|-----------------|-----------------|-----------------|
| | ○自分の考えを臆せず話したり | ○友達と協力して、お互いを高 | ○課題に諦めずに粘り強く取り |
| 学習 | 書いたりできる。 | め合える学習ができる。 | 組むことができる。 |
| | ・思考の場の工夫(個人、ペア、 | ・学習形態(ペアやグループな | ・成果物や努力の跡を掲示したり |
| | グループなど) | ど)を工夫するとともに、話し | 紹介したりする場を設け、自分 |
| | ・様々な表現方法習得のための | 合う内容や完成させる作品な | だけでなく友達のよさや成長 |
| | 機会を設ける。 | どを吟味して提示する。 | を感じられるようにする。 |
| | ○基礎基本の定着。 | ・学習問題、解決の過程、まとめ | ・課題の量や内容を調整できる |
| | ・学習ルールの徹底。再確認。 | が、児童主体の一連の流れに | 環境づくりをする。 |
| | (話し方、聞き方、学習用具の | なり、達成感を持てるような | ・学習法を例示したり、自学の |
| | 準備、提出物) | 学習過程を創造する。 | テーマを提供したりする。 |
| | ・読み、書き、計算の反復練習。 | | ・丁寧な評価を行う。 |
| | ・ノートに書く時間の確保。 | | |
| 生活 | 〇正しいと思える判断と行動が | 〇集団を意識した行動ができる。 | 〇目標やめあてを意識した生活 |
| | できる。 | ・公的な言葉遣いや行動ができる | をする。 |
| | ・教師の行動と言葉かけを最 | ようにする。 | ・学年の実態に応じた目標を掲 |
| | 小限にし、待つ姿勢を大切に | ・時計を見て速やかに身の回りの | げ、目標に向かって取り組ん |
| | する。 | ことを済ませる習慣をつける。 | でいけるように掲示したり声 |
| | ・自分たちで判断し、指示がな | (準備、片づけ、当番活動等) | をかけたりする。 |
| | くても行動していけるよう | ・一人ひとりの温かな行いに労い | ・責任をもって、当番活動など |
| | に、教師の普段からの言葉か | の声をかけ、全体に紹介する。 | 自分の仕事をやり遂げられる |
| | けを大切にする。 | ・自分だけでなく相手の意見を尊 | よう声をかける。 |
| | ・係活動の準備や発表の時間を | 重し、話し合って解決策を見つ | ・取り組み方や達成度を適宜チ |
| | 確保する。 | ける時間を確保する。 | ェックし、評価する。 |

●学年担任制の取組

| □授業交換(学年内教科 | イ)ヒ Iエ (P) |) |
|-------------|------------|---|
| | | |

☑ローテーション道徳

☑学習進度や学習方法で集団を作る学習

口学年全体での自由進度学習

☑朝の会・帰りの会・給食などのローテーション

☑習熟度別・学習スタイル別などの学習

□その他()

●総合的な学習の時間(3年生以上のみ)の取組

- ○探究課題(地域とかかわる内容でメインとなるもの一つ)
- ・福祉をテーマに課題を設定し、誰もが生活しやすい環境づくりについて考える。
- ○探究の中で児童に考えてほしい概念(知識)
- ・地域の人の話を聞き、誰もが快適に幸せに暮らせるような社会の仕組み(福祉)について知る。
- ○学年の終わりに育ってほしい姿 (地域や社会とのかかわりで)
- ・互いに支え合い、助け合いながら生きることの大切さについて考え、自分たちにできることを 実践していこうとする態度を育てる。
- 〇キーボードのスムーズな文字入力ができるようにトレーニングをする。
- ○効果的に調べ学習、表現活動ができるように、様々な方法を体験する機会を設ける。
- 〇ICTの活用により、児童同士が考えや成果物を共有し、協働的な学びにつなげる。

●学習サポーターの活用

○書写(書き初め)の時間の準備や片付け等の補助